

熊本中央病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用をさせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	抗血小板・抗凝固療法施行中の症例に対するTEP法の有用性の検討
研究責任者	外科医員 加藤萌子
本研究の目的・意義	近年、虚血性心疾患や脳塞栓症に対し抗血栓療法を施行している症例は増加しているが、このような症例の鼠経ヘルニアに対する治療法選択において、現行のガイドラインに推奨される術式は明示されていない。TEP法は、腹膜前腔の広範囲な剥離を要する術式であるが、それが重大な出血に繋がるかどうかについては疑問視されている。今回、当院でのTEP症例での抗血栓薬使用の有無での手術成績を検討すべく、研究を行った。
研究予定期間	委員会承認後～2025年3月31日
該当資料・データ	対象となる患者さま: 2013年4月から2024年4月の期間に、当院で鼠経ヘルニアに対して腹腔鏡下鼠経ヘルニア根治術(TEP)を施行した304例 利用する情報: 電子カルテに記載のある診療記録・検査データを利用します。
個人情報の取扱い	診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、手術日など個人を識別可能な情報を削除し、個人情報とは無関係の番号をつけ、研究機関毎に連結可能匿名化を行います。 個人識別情報と付加番号の対応表は研究機関毎に作成し、各機関の個人情報管理者が厳重に管理し、共同研究機関並びに解析担当者には渡しません。データ解析の際は、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会、誌上に公開する際も個人を特定できる形では公表しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話:096-370-3111(代表) 担当者:加藤 萌子(外科)